

戦争と女性の人権博物館を建設しよう！

謝罪と賠償の法律を成立させよう！

日本軍「慰安婦」問題解決のための 講演集会

講師：^{ヤンチンジャ}梁澄子さん（在日の慰安婦裁判を支える会）
～「オレの心は負けてない」上映運動から見てきたもの～

10月5日（日）午後1:30～4:30（1時開場） 資料代:500円(学生300円)

浪速人権文化センター 5 階集会室 1（JR大阪環状線芦原橋駅）

主催：リブ・イン・ピース☆9+25

（旧アメリカの戦争拡大と日本の有事法制に反対する署名事務局）

政府は、91年の金学順さんの名乗り出からでも実に17年にもわたって放置し、日本軍「慰安婦」被害者たちの尊厳を踏みにじってきました。彼女らは、悲劇を二度と繰り返してはならないという強い思いで、日本政府が歴史的事実を認め、公式謝罪し、そして国家賠償を行うことを求めています。被害者は高齢化し、次々と亡くなっています。解決の一步を、彼女たちが生きているうちに踏み出さねばなりません。そのため、9月半ばに開会される臨時国会では、解決にむけた法律制定を実現するため、「慰安婦」問題を中心議題の一つとするよう働きかける必要があります。

昨年7月の米下院での決議を皮切りに、オランダ、カナダ、EU議会で問題解決を求める決議があがりました。またとりわけ関西では、「慰安婦」問題の解決を求めて行われた「6. 21つながるコンサート」や「8. 10 関西フォーラム」が大成功をおさめ、運動は近年にない盛り上がりを見せています。集会では、映画「オレの心は負けてない」制作や韓国ソウル「戦争と女性の人権博物館建設」運動に中心に関わってこられた梁澄子さんのお話を聞き、また各地から様々な取り組みの報告などをしながら、今後の運動について検討したいと思います。

なお、この集会では、イラク戦争と海外派兵に反対する運動を進めてきたわたしたち署名事務局が、反戦平和と生存権擁護を打ち出した新しいグループ“リブ・イン・ピース☆9+25”に衣替えを行う提起も行います。是非ご参加下さい。一緒に今後の運動を作っていきましょう。

プログラム

- 1:30～ 梁澄子さん講演
- 3:00～ 休憩
- 3:10～ 質疑応答
- 3:40～ 各地での取り組みの報告など
- 4:00～ リブ・イン・ピース☆9+25への改称の提案、
「慰安婦」問題での今後の行動提起他

梁澄子さんプロフィール

在日の慰安婦裁判を支える会
会員で、宋神道さんの映画「オレの心は負けてない」のプロデューサー。韓国ソウル「戦争と女性の人権博物館」建設委員。

アメリカの戦争拡大と日本の有事法制に反対する署名事務局

〒580-0023 大阪府松原市南新町 3-3-28 阪南中央病院労働組合 気付

FAX 072-331-1919 TEL 090-5094-9483（事務局）

e-mail: stopuswar@jca.apc.org

http://www.jca.apc.org/stopUSwar/